

鈴木一則議員の質問

○浅野敏明議長 順位1番、議席番号1番、鈴木一則議員。

(1番鈴木一則議員登壇)

○1番 鈴木一則議員 政新長井の鈴木一則でございます。このたびは、会派を代表し、質問させていただきます。よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染は、感染力の強いオミクロン株により第六波の感染拡大の終息がなかなか見えません。3回目のワクチン接種が思ったほど進まない影響や、ウイルスの特徴として若年層への感染が早いなどが上げられ、広がりが早く、毎日全国で1万人を超える多くの方の感染は今までの株にはないもので、高齢者や基礎疾患患者の重症化も増えています。ワクチン接種がやはり有効という結果も出ていますので、感染防止対策とともに早期のワクチン接種を市民皆さんが積極的に進めていただくことが抑止となり、終息となるよう願うところです。

また、この冬の寒波襲来は、この週末にかけて11回目ということで、厳しい冬になりました。統計上では多くても8回程度ということですから、大変多いということです。これは、赤道付近の海域での海面水温が低い状態が続くラニーニャ現象により日本上空の偏西風が南に蛇行し、寒気が流れ込みやすくなる影響が顕著に出ているとのこと。降雪量も多く、除雪時の事故や雪害も多くなっています。今後は、融雪によるなだれ等の注意も必要です。今回を最後に、穏やかに光注ぐ春が待ち遠しいです。

私の質問は大きく2点です。明快なご答弁、よろしく願いいたします。

初めに、内谷市政のこれまでの実績と今後の市政運営について伺います。

最初に、公共施設整備がほぼ終え、これまで

の市政運営の実績と評価について伺います。

市長1期目のスタートは、財政再建中であり、集中改革プランへの取組により、市民の皆さんには大変な我慢をいただきながらも、できる限りサービスの低下とならないよう苦心した時期であったと思います。予算編成もままならず、当時から市庁舎や給食共同調理場などの公共施設の老朽化が課題となっていました。整備の余裕は全くなかったし、補助制度もありませんでした。このような公共施設整備が実現するとは誰も思っていませんでした。

財政再建のめどがついてきた2期目以降には、ようやく投資的な施策の展開ができるようになり、特に新たな産業として観光に着目し、観光振興計画を策定したことが今の長井市のまちづくりのきっかけのポイントになったと私は考えます。計画実現のため、国の交付金事業である都市再生整備計画事業により、観光交流センターなどの整備が計画され、また、中心市街地活性化基本計画の認定は、街路事業や関連の都市機能の整備を後押ししました。

東日本大震災後も大規模な水害や地震があり、国の予算も、復興のほか、防災や耐震化など予防的予算が組まれるようになったこともあり、国の指針に基づき公共施設整備計画が策定され、10年間の整備スケジュールなどを示し公共施設整備がスタートしました。その間、各省庁への職員の派遣により情報の収集を行い、財政負担の少ない事業を活用した整備の展開とともにPFIをはじめとする新たな整備手法も取り込まれ、財政負担の軽減と平準化を進められました。

このように、時期を逃さず素早い判断と準備がなければ、長井市のような財政規模の小さい自治体では短期間にできなかったことであり、達成されたその努力と英断に敬意を申し上げます。

なかなか進められなかった公共施設整備について、当時市長は、その時々市長が先送りを

してきたという発言をされていました。そのため、市長の決断に当たっては、相当の決意とともに将来への思いがあったと思います。私は、公共施設整備は内谷市政4期の集大成、苦勞の成果であり、今後の長井市発展の礎になると思いますが、いかがですか。内谷市政の最大事業となった公共施設整備については、ほぼめどがついてきましたので、これまでの実績と市政の評価について市長にお伺いいたします。

2つ目、今後の市政運営についてお伺いをいたします。

岸田政権の施策の柱に、デジタル田園都市国家構想があります。デジタル技術の活用により地域の特性を生かしながら地域を活性化し、持続可能な経済社会を実現したいということです。既に長井市では、令和2年度よりデジタル推進室を設置し、デジタル技術の活用を率先していく方針を示し、最先端のデジタル技術を活用した社会のSociety 5.0の実現に向けスタートしました。昨年、その実現のためのスマートシティ長井実現事業に取り組んだところです。

このたびの施政方針では、デジタルを含め、あらゆる分野でのSDGsの理念が提唱され、我が国においても未来を見据えた持続可能な社会の機運が高まっていますので、長井市も実現に向け取り組むことを令和4年の市政運営の基本的な考えと位置づけ、市民と共有しながら共創のまちづくりに取り組むことも示しています。SDGsには、社会のあらゆる分野の課題が掲げられているので、事業を進めるには、地域社会にしっかり浸透して初めて価値が見え、評価ができるものと思います。率先した事業であり、長期にわたり成果の判断が必要であり、市政のかじ取りが重要と思いますが、今後の市政運営について市長にお伺いをいたします。

次に、大きな2番目として、公立置賜総合病院の周辺開発整備と長井市への影響、今後の動きについてお伺いをいたします。

国道113号と長井南バイパス交差点を米沢市に向かうと、新潟山形南部連絡道路インターチェンジ関連の工事の進捗が目に見えるようになってまいりました。さらに車を走らせると、米沢長井道路の長井南バイパス南端から川西バイパスの始まりの橋りょう工事や盛土工事により道路の形が見えてきています。周辺では、一昨年から大規模な圃場整備が並行して行われており、一帯が大規模開発地域のような感じとなっています。

長井市に隣接の公立置賜総合病院周辺での大規模な開発が進められていますので、次の3点についてお伺いをいたします。

1つ目、国道287号米沢長井道路整備の手法についてお伺いをいたします。

来年度、予定では、新潟山形南部連絡道路の梨郷道路が完成予定とお聞きしていますが、長井南バイパスとの交差点処理がどうなるかなど、整備面積が大きくて実像がまだ見えない感じがです。昨年末に国道113号線と長井南バイパス交差の北西角地にコンビニエンスストアが開店しました。入り口が国道113号側からかと思いましたが、長井南バイパス側にも入り口ができ、長井市側から進行してきた車が交差点手前を右折してコンビニに入る光景を見て驚きました。米沢長井道路は、米沢―白鷹間を30分で結ぶという重要な地域内幹線道路網であり、規格の高い路線設定と認識していましたが、これでは一般道と何ら変わりがないと感じました。長井市側はどうですか。今泉、河井、泉は全て側道が整備され、直接乗り入れができないのですが、道路構造が統一されず整備が進んでいるのでしょうか。

インターチェンジ完成後は、交通量が増え、川西町の開発地域からバイパスに直接乗り入れがあれば、渋滞や事故が発生し、本来の道路整備の目的が薄れると思います。規格の高い道路であれば、できる限り交差点を少なくするもの

と考えますが、全体の整備手法について山形県から示されているのか、お知らせいただきたい。技監にお伺いをいたします。

また、山形県道路中期計画において、広域道路ネットワークを生かすアクセス道路の整備促進で、国道287号、長井―白鷹間の調査に着手されています。改築となっていますが、現道改良か、新規ルートなのか、お伺いをいたします。

2つ目、川西町メディカルタウン整備の長井市への影響についてお伺いをいたします。

昨今の報道等で、長井市に隣接する川西町の大塚地区、公立置賜総合病院周辺の土地利用を図る川西町メディカルタウン整備の具体的な姿が見えてきました。まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置づけた事業で、令和5年完成の新潟山形南部連絡道路、梨郷道路のインターチェンジの開業に合わせて、整備重点区域として約9.7ヘクタールを設定し、商業区域約3.8ヘクタールに食品スーパーやドラッグストア、複数の診療所の開院が予定されているそうです。

いずれも令和4年度中に開業する予定で、今後は、幼児施設や入院患者の家族の利用を想定したビジネスホテルの開業も予定されています。また、住宅区域には、県の住宅供給公社が約80区画の造成を予定しており、22年度に17区画の分譲が始まるということで、定住人口を400人から500人と想定をしています。進出する食品スーパーはヤマザワで、位置的に長井市館町の店舗から約5キロ、川西町内の現店舗から約5キロという中間に2店舗目として整備されますが、長井市の南地区の商業集積地区への影響があるのではないのでしょうか。

長井市の店舗も、川西町大塚地区や飯豊町添川地区、長井市では歌丸地区、今泉地区などが商圈と思われるので、かぶるのではないのでしょうか。また、宅地分譲も国道113号線と国道287号線が交わり、南陽市や米沢市への通勤も短時

間になることから、長井市からの転出が想定されます。現在、長井市で進めている各種施策への影響が少なからずあると思いますが、市長の考えをお伺いをいたします。

3つ目、新潟山形南部連絡道路、梨郷道路周辺を広域のエリアとして発展させていくべきと考えるが、どうかについてお伺いをいたします。

令和5年完成の新潟山形南部連絡道路、梨郷道路のインターチェンジの開業により、交通の利便性が上がり、それにより人の流れを加速させ、にぎわいの創出が期待されます。当然、新山道が町内を通る川西町では経済効果を得るための方策を駆使するわけで、メディカルタウン整備はその1つであり、既に民間ではマーケット性が高い判断から進出を決めている状況です。

長井市でも、新山道沿いに今泉地区に既存の産業団地があり、今年度から具体化に向け動き出す新産業団地整備が今泉駅西地区に検討されています。そうすると、道路沿いに川西町メディカルタウンは連続した地域となります。自治体をまたぐ広域の地域ではありますが、お互いにメリットを出し、発展させていくべき地域とも考えます。このエリアの展開について市長はどのようなお考えをお持ちか、お伺いをいたします。

以上で壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 皆さん、おはようございます。政新長井を代表しての鈴木一則議員の代表質問にお答え申し上げます。

お答えを申し上げる前に、去る3月2日に鈴木一則議員のご尊父様である鈴木昭様をご逝去なさいました。皆様ご承知のとおり、鈴木昭様は、長井市市政功労者であり、長井市農業協同組合組合長はじめJAおきたまの常務理事など、産業振興に大変ご功績のあった方でございます。加えて、長井市政でも教育委員をはじめ様々な

審議会の委員をお務めいただき、長井市の市政発展に、そして市民福祉の向上に多大なるご貢献を賜りました。ここに謹んで哀悼の誠をささげたいと思います。

また、鈴木一則議員には、明日がご尊父様の告別式という大変喪中の慌ただしい中、こういった形で代表質問していただきますことに敬意を表させていただきます。

それでは、お答えを申し上げたいと思います。

議員からは、私のほうに大きく4点でしょうか、頂戴いたしました。

まず最初に、これまでの内谷市政の実績と今後の市政運営についてどう考えてるかということのご質問をいただきました。

議員のほうからは、大変もったいないお言葉をいただいたわけでございますが、振り返りますと、私も市長に就かせていただいて16年目になりますが、やはり何とんでも長井市の昨今の一番の転機点となったのは、平成10年からやらざるを得なかった財政再建だと思っております。

当時、私は市議会議員として、また、その後、市長もさせていただいておりますが、鈴木議員には市の幹部職員として総務参事はじめ企画調整課長、建設課長などを歴任されて、時には激論を交わしましたがけれども、力を合わせてこの財政再建を果たしてきたという思いがございます。現在の市議会では蒲生光男議員が議員会会長あるいは監査委員、また、議会運営委員長などを努めていただいておりますが、当時のことを唯一よくご存じな方で、一緒になって財政再建を果たしてきたわけですが、議会の中には、さらに、平進元議長、浅野現議長も市の幹部職員として本当につらく厳しい財政再建を乗り越えて、そして今日があるのだと思っております。もちろん市民の皆様はじめ議会、そして多くの民間企業の皆様のご努力もあったと思っております。

そんな中で、やはり一番の課題は、私も市長に就かせていただく前の市議会議員のときにも申し上げてたんですが、長井市は、かつて県内でも有数の工業都市、まずはグンゼ株式会社長井工場があり、そして戦時中にマルコン電子株式会社、東芝ライテック長井工場を誘致し、戦後は協同薬品工場株式会社が本社をこちらに移してくれたと、この3つの企業で成り立っていたわけですが、これらが全て現在は違う形になってしまったと。特に長井市では、2000年あたり、実際は平成12年でしょうか、平成13年ですか、その辺りから人口減少が実はほかの市町村に先駆けて進んでおりました。国全体も2005年あたりから減るという予測があったんですけども、その人口減少に対するやはり危機感というのはまだ、大変恐縮な言い方ですが、市議会の中にも、また、市民の中でもそういった考えはほとんどなかったと思っております。

そういった中で、私が市長に就かせていただいてからは、市の幹部職員をはじめ皆様といろいろ意見交換をして、一番のターニングポイントというのは、鈴木一則議員がおっしゃったように、観光振興計画をつくったと。観光振興計画をつくるということの意味をやっぱり理解してもらってませんでした。やはり当時は財政再建ということもあって、短期、せいぜい中期的な展望しかなかったと。やはり10年、20年、30年のそういった将来のビジョンを描けないでおりましたんで、そこをどうするかと。人口がどんどん減ってきますと、当然地域の経済が縮みます。そうしますと、より一層長井市としての都市機能が衰退しますので、どんどんどんどん魅力がなくなるという悪循環に陥っている時期だったと思います。

そのときに、まずはソフトで、これから観光交流でいかに長井市を元気にして、なおかつ産業振興につなげていくかという観光振興計画、これも実はかなり苦勞して、最終的には機構改

革をして観光振興課というのをつくって初めて計画をつくることができました。

あともう一つは、やっぱりこれも議員がおっしゃるように、実は割と市民の皆さんの理解がないんですが、中心市街地活性化基本計画、これを認定いただいたというのがかなり大きい。山形県内では、山形市と鶴岡市と酒田市しかなかったのを上山市が取って、私ども5番目でしたけれども、これをつくることによって様々な見える形で、あるいはいろんな施策を呼び込む、補助を呼び込む基本だと思っております。

この2つの計画づくりというのが大きなターニングポイントですが、やっぱり一番は、財政再建のときの教訓として、まず無計画なハード事業は行わない、なおかつ行う際には、今までのような、時には単独でもしようがないってすぐ諦めて単独事業をやってきたということがあったんですが、そういったことじゃなくて、財源をしっかりと確保しながら、後年度負担の少ない、そういう事業を呼び込むような様々な国に準じた計画とか、あるいはソフトも充実させながらハードを造っていくということをやってきた成果だと思っております。これは、当然私だけではできるものではなく、職員をはじめ、また、財政再建中にかなり職員のモチベーションも下がっておりましたし、なおかつ情報も入ってこなかったということで、数年かけてですが、現在は8名の職員を国や県のほうに派遣して、様々な情報収集やら必要な補助を得るための計画づくりとか、あるいは私どもが直談判して、長井市ではこういう事業でこの問題を解決するために努力してやろうとしてますんで、ぜひ助言をいただきたいということでいろんな事業を認めていただいて、大体財政再建明けた後、箱物が多かったんですけども、土木も含めて約40以上の1億円を超える事業をすることができたんだと思っております。そういった意味では、これで終わりということではなくて、あくまで

も、まずは人口減少を食い止めるための基礎づくりを今行ってると思っております。

そういった中で、鈴木一則議員からもございましたけども、岸田総理が提唱するデジタル田園都市国家構想というのは、実はその具体的な中身はまだないんだという話もございますが、私はそうじゃないだろうと。きちんとした時期が来たら明確に出してくると思うんですが、いわゆる我々みたいな地方の小都市でもこれらに取り組みむことによって、長井市から一旦首都圏をはじめとした大都市に行ってしまった若者あるいはこれから社会に出ようとする若い人たちが、地元のことをより愛し地元に残りたいと、そういうふう考えてもらえるような都市像っていいですか、都市機能を含めた、そういったものがこの田園都市国家構想にあると思っておりますんで、そこに今後取り組まなきゃいけないと思っております。

また、まずは市役所を、昨年おかげさまで造ることができました、これは議員もおっしゃってましたけども、本当に夢のような話で、とてもとても考えられなかったと。公立置賜長井病院もこの5月にプレオープンいたしますし、あと、隣に、今度は以前から市民の皆様からの要望が多かった、いわゆる子育て支援の応援施設としての遊戯施設とか、あと多機能型図書館。これは山形県内で人口減少が横ばいか、やや増えているのが東根市と天童市と三川町、この3つしかないわけですね。特に天童市と東根市というのは子育てについて、天童市はソフトもハードも今すごい充実してますが、かつて東根市は、ハードしかなかったんですね。でも、ハードだけでもすごく人気があったと、それは立地にもよりますけれども。したがって、私どもとしては、都市機能をまず高める、一番市民にとって魅力的に映るそういう施設を令和5年の夏に完成してオープンすることができるというのが、この次のステップのきっかけだと思っております。

す。

加えて、いろいろございましたけれども、本町の街路事業もおかげさまで、鈴木議員のほうからも大変頑張ってくださいましたけども、これが令和5年度で完成して、令和4年度からは駅前通りの街路事業をすることができると。それによって、もう一度まちなかの都市機能を高め、小さいお子さんからお年寄りまで安心して暮らせるハードを造る大きなチャンスだと。ただし、これはハードだけではもちろん駄目で、そのためにスマートシティ長井という、デジタル技術とか、今後どんどん社会に実用化されてくるAIとかドローンとか、あるいはロボット技術、こういったものを率先して取り入れようということによって必ず県内はもとより東北、国内から注目浴びますので、それと一体で進めることによってかなり都市の魅力は高まってくると。

さらには、デジタル技術がどんどん進みますと、何も東京の会社に勤めてても、東京の会社にいなくても、地方に住みながら働くことができる社会が、業種にもよりますけれども、どんどん実用化されておりますんで、そういった意味では大変なチャンスだろうと思ってます。したがって、今後は我々行政側で単独でやる公共施設整備事業というのは、もうほとんどこれからはかなり厳選しないと財政的にも負担が大きくなるのかなと。したがって、今後は民間と一緒にになって民間の様々な投資を呼び込むような、そういったまちづくり、あるいは方向性を明らかにしながら、民間と一緒にになって、より魅力ある長井市、そして西置賜地方の中心のまちとして、また、置賜市の中でも、米沢市に次ぐ私も西のほうの核として、これからも緩やかな人口減少に抑えて、来るべき30年、40年たてば必ず人口減少はストップできると思っておりますので、そこまでに、この中央地区だけじゃなくて、周りの5地区、これは以前、第四次総合

計画で言っていた協働のまちづくり、市民との協働、これをコミュニティセンターを中心に、いわゆる一緒になって共創という形で行政と地域、そして市民の皆様と力を合わせていろんな問題を解決していくと。そこにはデジタル技術も大いに活用しようと、そんな将来展望で進めてまいりたいと思っております。

ちょっと長々とお話し申し上げましたけども、したがって、今後も市政運営につきましては、引き続き一番我々が注意しなきゃいけないのは、実質公債費比率が国の規制の対象になる18%を超えないような、そういった財政運営を心がけていかなきゃいけないということと同時に、新しい国の動きなども積極的に取り入れて、若い人たちにやっぱり、ぜひ長井市に住みたいと思っていただけるような教育であったり、子育てであったり、あるいはスポーツとか芸術文化が楽しめる、そんなまちに皆様と共に頑張っていきたいと思っております。

続きまして、2点目でございますが、公立置賜総合病院の周辺開発整備と本市への影響ということなんですが、これにつきましては、鈴木一則議員がおっしゃるように、かなり大きな影響があるだろうと思ってます。ただし、これは短期的な影響だろうと。

やっぱり私が政治を志す原点になったのは、実はちょっとその病院なんかと非常に関連して、あそこの病院のところに昭和50年代の初めに、朝日幹線という鉄塔が通る予定だったんです。大塚を通して伊佐沢に行くと。それが大塚の地元の方が、こんなものを通したら後々地域が大変になるということで、反対運動が起きたんですね。それに目をつけた今泉の某議員が引っ張ってきたんですね。

実は、私はその当時、市の職員で、こんなもの絶対駄目だということで反対運動が起きまして署名活動をして、請願出すというところになったんですよ。ところが、どんどん進んだんで

す。私、その後、確認したら、そんな請願出てないと。私も署名に書きましたんで、びっくりしました。結果として、その原因の土地に10倍の補償だったんですね。当時10アール当たり250万円ぐらいだった、その10倍なんで2,500万円だったそうです。ですから鉄塔が建ったところは1,000万円以上もらってるんですね。あと線下補償もあったりして、そういうようなことで通されてしまったんですね。

それが、結局、後々、平成に入ってから病院がなぜか大変な赤字をあとという間に抱えてました。昭和の時代は、長井市の総合病院、時代もあったんでしょうけども、市の交付税措置の部分をやらなくても黒字だったんです。それぐらい業績があって、483床でしょうか、486床だったかで置賜地方では一番大きい公立病院だったわけですが、それががたがたがたがたって5年ぐらいで、皆さんご存じだと思うんですが、20億円の赤字を抱えてしまったんですね。

それで、そのときに県のほうから、置賜地方だけに総合病院がない、県の病院がないということで声がかかって、長井市が乗らざるを得なかったということで、したがって、朝日幹線もあそこを通ってたんで、結局、つばぜり合いであそこの場所ということになったわけですが、実は今、私どもとして非常に困ったなと思ってるのは、いつの間にか企業団になって全部適用団体になったわけですね、公益法人のですね。そしたら、もう20年たったので、これから300億円、400億円かけて再整備するんだみたいなことをいきなり言われまして、経営会議みたいなのが年に2回あるんですが、何だ、それと、そんな話聞いてないと。

病院全体が地盤沈下してるんだそうです。非常にあそこは地盤が悪いというのは聞いてました。ですから、本来であれば、そこのちょっと西の山手のほうに造れば問題なかったんでしょうけども、どういうわけかあそこに造ってしま

ったと。そうすると、地盤沈下もあるし、もう20年たったから、どんどんどんどん直さなきゃいけないと。そんなことだったら、もう長井市としては、それこそ市民の皆様にお問い合わせ、もうやめたほうがいいんじゃないかと。長井病院だったら、やっぱり医師会の先生方に相談すればできますよ。お医者様だって、今3人しか常勤はいないんですから。あとは、どこの病院でも公立病院でも、今の時代、山形大学医学部附属病院さんで協力しないということはないですから、だったらやってる意味がないと。

それは、南陽市も同じようなことを言ってまして、こんな勝手にやられるんだったらと。それに今回のメディカルタウン、これは川西町としては、手っ取り早くお医者様はじめ医療関係者が近くに住むんじゃないかということと、都市化することによって人口減少を少しでも町全体として食い止められるというのは、これ当然考えますんで、梨郷道路が通るときに、特例でそのインターの周辺500メートルから1キロは農振除外できるんです。その特例を使って川西町のほうでああいうメディカルタウンと。メディカルタウンは公立置賜総合病院のほうの要望だということのようですが、したがって、短期的には長井市が幾ら前のヨークベニマル跡にヤマザワをとということでやって断られたにもかかわらず、あそこにはすぐ出たと。ですから、はたから見ると、いかに長井市ってまちは魅力がないかですよ。

いろいろなところで説明すると、地区長会なんかでも言うと笑われるんですが、若い人たちから、回転ずしが長井市にないので回転ずしを誘致してくれと言われるんですが、前のタウンセンターのヨークベニマル跡地、今、菜なポートと、それからウエルシアがありますけども、あそこの空き地のところ、実は飲食店のファミレスを誘致しようと、全部断られたそうです。それぐらい長井市というのはもう魅力がなかつ

たんですね。ただ、先ほど言いましたように、いろんなものを我々、少しずつ整備してきて、これからはやっぱり都市機能を充実させるということが実現できれば、黙っててもそういったものは集まってくるだろうと。

そこで一番のポイントは、教育と子育てだと。あとは芸術文化とか生活に潤いを与えるということと、もちろん安全・安心もありますけども、そこがポイントだと思ってますんで、いずれあそこのメディカルタウンには負けない、どっちに住むかっていった場合は、メディカルタウンじゃなくて長井市に住みたいと若い人たちに言ってもらえるような、そんなまちにしたいと思えますし、まちなかにいろんな機能が整いますと、お年寄りの方なんか歩いて買物したり、あるいは市営バスとかそういったものを使ってやれる、そんなまちになるんじゃないかなと思っております。

なお、技監のほうからもあるかと思いますが、やっぱり私も、長井南バイパスの長井市部分は、ああいう側道にして絶対規格の高い道路って守ってるにもかかわらず、川西町ひどいということで、当時の県土整備部長に直談判したことで、当時の県土整備部長に直談判したことで、そしたら、そんなことはないですって言われたんですが、後で見て、内谷市長の言ったとおりでしたと、びっくりしましたって言われました。それぐらい、やっぱり県のほうでも何かそこら辺がきちっとしてないんですね。やっぱり113号線と現在の287号南バイパスの平面交差は非常に危険です。信号も矢印の信号がありませんし、そういったところをやっぱり我々、米沢警察署管内にはなるんですが、きちんと要望していかないといけないなと思いますし、あれも最初は立体の予定なのが、いつの間にか平面になったということなんですが、今後その辺も含めてしっかりと意見を申し上げたいと思います。

なお、川西町原田町長とは、やっぱり連携

してやるべきだと。したがって、あそこの公立置賜総合病院というのは、やっぱり置賜地方の高度医療の拠点ですので、救急救命やら高度医療がありますので、そういった意味では、私も長井市のほうは新産業団地と、それから駅がありますので、その駅を生かしてまた違ったまちづくりを今後していきたいなと考えてるところでございます。

ちょっと長くなりましたけど、以上で私のほうの答弁を終わります。大変ありがとうございました。

○浅野敏明議長 青木邦博技監。

○青木邦博技監 私のほうからは、国道287号米沢長井道路の整備手法について、初めに、長井市側と米沢市・川西町側との道路構造の統一性についてお答えいたします。

一般国道287号米沢長井道路につきましては、東北地方自動車道米沢北インターチェンジから当市、泉を結ぶインターチェンジアクセス道路として、全体延長19.4キロメートル、全体事業費319億円で平成9年度より着手し、長井南バイパス6.3キロメートルにつきましては平成28年3月に全体供用されております。現在は、米沢一川西間の3バイパス区間においてそれぞれ工事が進捗している状況でございます。

議員ご質問の長井南バイパスと米沢川西バイパスの道路構造の違いや国道113号との立体交差化について、山形県からの聞き取り等も含めましてお答えいたします。

基本的に、長井南バイパスと米沢一川西間3バイパスとの道路構造の違いはございません。道路交差については、国道、県道、市道、町道とも平面交差を基本とし、4車線、暫定2車線で施工しております。全体として、新山道のような高盛土ではございませんので、平面交差が可能になり、川西町地内の主要地方道高島川西線につきましても平面交差になります。ただし、米沢北インターチェンジ付近や新山道交差部、

橋りょう部前後の縦断勾配のすりつけ区間につきましては立体交差になり、長井南バイパスの場合は国道113号との平面交差から八ヶ森の山を削って白川大橋、泉地点の現道のすりつけ部分まで、この4点を結ぶ縦断勾配になっておりますので、縦断的には比較的急勾配な箇所もあって側道が設置されております。今泉地内の八ヶ森自然公園や河井地区に入る交差市道については、平面交差しております。

また、国道113号と南バイパスとの立体交差につきましては、現在、暫定2車線になっておりますが、今後の交通量により4車線化も含めて立体交差の計画が消えたわけではないということ、それには、新山道の開通によりまして現在の国道113号の移管先であったり、国道287号が優先になるのか、国道113号が優先なのか、この主従関係も含めて実際の交通量を見た上での将来計画として捉えているところでございます。

続きまして、国道287号長井―白鷹間の道路中期計画に基づく現在の考え方についてお答えいたします。

新潟山形南部連絡道路や国道287号米沢長井道路が進捗する中で、当市が置賜30分構想の中核都市として置賜圏域全体の発展を担うためにも、この米沢長井道路を延長したいいわゆる西廻り幹線道路を重要路線と位置づけ、平成30年度、白鷹町と合同の長井―白鷹間西廻り幹線道路建設促進期成同盟会を設立したところでございます。令和元年度、長井南バイパス起点から長井北工業団地までの国道287号と一般県道勸進代舟場線が重要物流道路に指定され、また、国道287号、長井―白鷹間が山形県道路中期計画2028に前期5年以内の調査着手の方針が示されました。

重要物流道路と申しますのは、国土交通大臣が物流上、重要な道路輸送網を重要物流道路として指定し、機能強化や重点支援を図るもので、

通常の道路より水準が高い特別の構造基準が設定されるほか、災害復旧について国の代行が可能となるものでございます。この間、西置賜道路計画課との勉強会を重ねる中で、想定事業費や竣工年数、参考までに、泉地内の長井南バイパスを起点として、時庭、平野、西根を通過して荒砥橋につながるルートは、全長が約15.7キロメートル、全体事業費で約210億円と試算されております。西置賜道路計画課の改築系の年間予算が約5億円から6億円程度ですので、それらを全て費やしたとしても単純計算で約40年近くかかるということになります。当市を南北に縦走する基幹道路については、東側に国道348号と重複する国道287号、中心に主要地方道長井大江線、西に主要地方道長井白鷹線、最も西側に市道置賜西部2号線がございまして、特に287号、森・広野バイパスにつきましては、平成25年に竣工したばかりでございます。

こうした現実を鑑みたときに、従来の考え方のほかに、今、様々な可能性を検討していく、例えば長井市としては、主要物流道路と重なる区間の市街地環状線の規格の高い道路整備、白鷹町としては、主要地方道長井大江線を鮎貝駅周辺から現道を拡幅し、両者を五十川付近で交差させる手法等、事業費の抑制や早期完成の観点からも、より現実的なルートを引き続き山形県、白鷹町、当市で検討していきたいと思っております。

○浅野敏明議長 1番、鈴木一則議員。

○1番 鈴木一則議員 ご質問にお答えいただきました。

今、ちょっと技監のほうで気になった点があるんですが、国道113号と南バイパスの交差点、私が課題とした、いわゆるコンビニエンスストアのところなんですけども、基本的に今、右折レーンもあり、道路規格も幅が広くて、交差点手前で右折するという、ちょっとこれ考えられないなと思ってるんです。これが結局のところ、

将来的に立体交差という話もありましたけども、以前からの用地買収のときに既にこの話はあって、市長がおっしゃったように、いつの間にか立体交差が平面交差で進んでるといことなんで、これはかなり問題だって私は思うんです。実際に今、交通量を見ていただいても、348号になってしまった、前の287号の重複道路よりはるかにもう交通量がそちらに行ってる状況の中で、あのよう一般道路化されるというのはちょっと私は考えられないと思うんです。その点は、市長にも、県に道路行政として相当きちっと言っていたかかないと困るのではないかと思います、いかがですか。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 鈴木一則議員がおっしゃるように、今まで長井市内じゃなくて川西町だったものですから、特に警察署の交通関係とか、あと、287号は県の管理国道なんで、多分置賜総合支庁で許可を出してるはずなんです。あれ、かなり危ないと。私は113号線だけかなと思ったら、よく見たら287号のほうからも出てるんです。そうすると、交差点のところから10メートルもないんですね。あれ許可出していいのかと、ちょっとびっくりしました。かなり危ない。

しかも、長井市側から行きますと、バイパスが直線と右折と左折とあるんですね。3車線あって一番左側の車線からびゅっびゅっびゅっびゅ出るんですね。見通しもあんまりよくないので、本当にこれ大きな事故になるということで、去年の11月の西根地区の女性の皆さんと語る会でも、お二人のから、あんなの許していいのかわいと言われましたんで、我々の管内ではないんですが、やっぱり長井市民がよく通る道路ですんで、しっかりと県の建設部あるいは置賜総合支庁、あとは米沢警察署のほうに要望しなきゃいけないなと考えております。

○浅野敏明議長 1番、鈴木一則議員。

○1番 鈴木一則議員 長井市側の南バイパスの

ときは、河井地区では地下道を造るのもけんけんがくがく、それから立体化、高盛土の話も相当な期間かけて議論して、ようやく渋々あの状態ということなんです、あまりにも東側のほうがちょっと簡単過ぎるといこと、そのような懸念があって、実際に本当に一般道路と同じじゃないかということなんで、これはやっぱり相当これからも力を入れていただいて、置賜道路の関係の同盟会がありますので、そこらも一体的に活動いただけないか、これは県のほうにプッシュをいただきたいなと思います。

先ほど市長から、川西メディカルタウンの関係、お話がありました。当時、あの場所に移った際に私も関わってたのですが、実際にあの朝日幹線の課題がすごく大きかったんです。渋々といこと、基本的に当時ドクターを持ってるのは長井市しかいなかったんです。それがなければできなかった病院なのにもかかわらず、県が、どうしてもやっぱり広域という部分で、できる限り南陽市、川西町、長井市の中間に持っていきたいという思いが、当時やっぱり強かった位置ということ、苦渋の決断だったと思います。

その地盤沈下の話は、当然昔から話があったんです。最上川の堆積土の土地だからといことと、それから元宿川と現最上川の間に建てよといこと話もあって、あそこは遊水地だろうといこと、それを平気で県が提案してくるといことそんなことがあって、ようやくあそこまで引張ってきたんです。本来は長井市は、あの高台のブドウ団地だった、その部分が一番ベストといことだったんですが、なかなか当時、やっぱり経営状況が落ち込んでいた部分もあったので、渋々といこともあったんですが、あそここの部分は実は都市計画区域で特別区域になってるんです。当時いろいろあって、結局あそここのインターチェンジ部分を特別区域にして、都市計画区域をそれで県が特別に設定したんです。その思いを、今お聞きしますと、県は知らんぷ

りで、市町村にお任せみたいな形になってるんで、そこら辺も本来は開発関係も全て、やはりもっと県が投げやりでなくて関わってくる話とも思いますので、今後そこら辺の課題も精査しながら、ぜひお願いしたいと思います。

長井市全体の均衡の発展を考えると、以前にも質問いたしましたけども、私は、やはり梨郷道路の完成後に、市長の提案されたいいわゆる高規格の348号、東北中央道の山形のいわゆるスマートインターチェンジ付近のタッチという部分は、長井市全体の南北の発展を考えると、全体これは不可欠だと思います。

今までは、どちらかという、113号線の縦軸の部分だけで県道整備と考えてたんですが、今回は横軸ができるわけですから。それと、斜めといいますか、横軸との最短距離の部分の評価されて山形市長も同盟会の会長になられたと私は理解してるんですけども、その部分について、新たな開発というか、地域発展、それから新たな魅力の創出とか、そういう部分では87号の改築もそうなんですけども、新たな高規格の整備というのが、もうこれは喫緊に急いでいただきたいと思いますが、最後に、ここら辺の部分について市長がどのように思いを描いていらっしゃるか、ご提案も含めてお伺いをさせていただきたいと思います。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 鈴木一則議員がおっしゃるとおり、これから長井市の均衡ある発展などを考えた場合、まずは287号線と348号線は今泉から348号線は長谷堂までなんです、そこが起点になってますが、287号が荒砥までダブってるんですよ。今回は348号線のいわゆる高規格化の期成同盟会を山形市長も了解いただいて会長になっていただいて、白鷹町と長井市で副会長、あとは、小国市と飯豊町と川西町も入っていただき、あと、南陽市と上山市も入っていただいたと。

一番理想的な形は、梨郷道路が令和5年度に今泉で現道とぶつかります。そこから、歌丸を通して時庭に入って、泉からどうなるかですけど、平野のほうに入って、それから西根、致芳で、いわゆる重要物流道路の部分も含めて、あかしあ産業団地のところまでつなぐ、そして、南バイパスを、今からもう1本道路となりますけども、やっぱり延長して学習プラザの近くあたりで一本化したほうがいいんじゃないかなと思ってのですね。そうしますと、県土整備部長なんかにも、あるいは東北地方整備局なんかにも、ぜひ、いわゆる高規格道路のもう一つ1本違った線ということで、348号線を東北中央自動車道の山形中央と上山のところにスマートインターができますんで、そこにつなげるようにということでお話しして、そういう考え方もありだということですね。

ただ、これは県の管轄の国道ですので、いわゆる県が国に対して要請すれば国が動けるといいますから、やっぱり国が事業として取り組んでいただいて、それに県とか、場合によって我々市町村も負担をして規格の高い道路を造れば、今の348号のルートは当然変わって、荒砥まで行かずに手前から山のトンネルとか橋で行けば長井市から30分、そういうことで描けるんじゃないかと思ってまして、これらについて、長井市は今まで新しい道路で自ら提案したことないんですね。国や県から言われて、例えば287号のバイパスだとか森バイパスだとかはありましたけど、今ここに来て、やっぱり高速交通ネットワークがないのは長井市だけですので、ぜひそれを今の道路の課題解決も含めて、もう1本、西廻りの幹線道路みたいな形でつなげて348号を生かしていきたいなと考えているところでございます。

○浅野敏明議長 1番、鈴木一則議員。

○1番 鈴木一則議員 産業振興も含めて、企業進出など、将来的にきちっとそういうところを

見据えていくということが必要なので、今後、市政運営にさらにご期待申し上げますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上で私の質問を終わります。

○浅野敏明議長 なお、鈴木一則議員から早退させてほしい旨の届出がありましたので、ご報告いたします。

鈴木富美子議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位2番、議席番号10番、鈴木富美子議員。

(10番鈴木富美子議員登壇)

○10番 鈴木富美子議員 おはようございます。清和長井の鈴木富美子です。3月定例会は会派を代表して質問させていただきます。

冬季オリンピックが終わりました。長井市出身の鈴木沙織選手は残念ながらメダルには届きませんでした。日本の代表であり、長井市の誇るべき選手であると思います。ふるさとの環境があるからこそできたことだと私は思っております。未来の子供たちに、ふるさとのよさを私たちがしっかり伝えていかなければならないと思いました。

そして今日から冬季パラリンピックの開会です。スポーツは平和の祭典と言われております。しかし、毎日ロシアとウクライナの様子が報道されています。こんなことがあっていいのだろうか、多くの市民、将来ある子供たちまで巻き込んで、耳を疑いたくなります。一日も早く停戦になることを祈るばかりです。

話は変わりますが、今年の冬は例年にない大雪に見舞われ、雪かきに追われる生活でした。除雪費も約4億円強に膨らみ、排雪場所の野川橋付近は埋立地ようになり、この雪が本当に消えるのだろうか心配になります。こんな状

況の中、昼夜問わず除雪、排雪作業をしていただいた皆様に心より感謝申し上げます。早く春が来ること、そして新型コロナウイルス感染症が終息することを願っております。しかしながら、ガソリン、灯油、食品などの高騰が止まりません。これからどうなるのだろうか不安になる要素がいっぱいありますが、令和4年度に向けて明るい希望を持ち、市民の皆様が幸せに暮らせるまちづくりに邁進したいと思います。

それでは、質問に入ります。大きく2つの質問をいたしますので、明確な答弁よろしくお願ひいたします。

1つ目は、公共複合施設についてお聞きいたします。

令和3年5月に新市庁舎が開庁、長井市民文化会館の改築、給食共同調理場の新築、公立置賜長井病院においては今年の5月連休後にプレオープンを迎え、診療開始となります。第五次総合計画の後期基本計画及び第2期総合戦略に基づき、年度内の整備完了を目指し整備を進めているとお聞きしております。令和5年7月には、子育て世代活動支援センターと多機能型図書館の機能を持つ長井市公共複合施設、仮称、長井市遊びと学びの交流施設が完成する予定と伺っております。

公共複合施設について8つの質問をしますので、よろしくお願ひいたします。1から5については技監にお願ひいたします。

1つ目は、今年の冬の大雪による工事の遅れや除雪費の費用などに影響はなかったのか、お聞きいたします。

2つ目は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外生産品の納入遅れが話題となっておりますが、公共複合施設の現場におきまして資材等の確保、材料の高騰などの影響はなかったのか、工期や費用に影響はないのか、お聞きいたします。

3つ目は、今年度末の進捗状況をお聞きいた